

ADSLモデムのセットアップ編 (MegaBit Gear TE4121C版)



ご注意

- 1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 2. 本書の内容は予告なく変更することがあります。
- 3. 本書の内容によって生じた問題等については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- Windows、Windows95/98/Me/2000/XP、Microsoft Internet Explorer、Microsoft Outlook Express は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は米国その他の国で登録された米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- Netscape Navigator は米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation の登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。
- ®マークおよび™表記については本文中に明記しません。

次

目 次1
お使いになる前に2
本書の内容について 2
本書の表記ルールについて2
パソコンの基本操作3
マウスの操作3
日本語入力の切り替え3
記号の読み方と入力のしかた5
ADSL モデムについて 6
安全にお使いいただくために6
使用上のご注意7
設置するときのご注意9
パッケージの内容の確認11
各部の名称と機能12
セットアップの流れ13
機器の設置と接続14
ADSL モデムの設置14
ADSL モデムを電話回線に接続する15
電話共用タイプの場合
(タイプ1:電話重畳あり)15
専用回線タイプの場合
(タイプ2:電話重畳なし)17
ADSL モデムの電源を接続する18
ADSL モデムのランプを確認する19
パソコンに LAN カードを取り付ける20
LAN カードと ADSL モデムを接続する21
1 台のパソコンを接続する場合 21
複数台のパソコンを接続する場合22
機器の接続確認23

パソコンの設定24
Windows95/98/Me/2000の場合24
WindowsXPの場合26
Mac OS の場合29
Mac OS X の場合30
ADSL モデムの設定33
管理メニューを表示する33
基本設定34
セキュリティの設定37
応用設定40
機器状態・ログを参照する40
ログインパスワード変更41
初期設定で起動する42
ログインパスワードを
忘れてしまったときには44
困ったときには45
ADSL モデム編45
Windows95/98/Me/2000/XP σ
トラブルシューティング48
MacOS のトラブルシューティング48
付録66
用語集66

お使いになる前に

本書の内容について

本書では、ADSLをはじめて利用される方が、ADSLモデムを正しく設置し、お手元のパソコンと接続するまでの接続および設定方法を説明します。

お使いいただく前に本書の内容をお読みいただき、いつもお手元に置いて有効にご活用ください。

お客様のご利用目的に応じて、必要なソウトウェア設定などが異なります。詳しい設定内容は、お客様がご利用になるハードウェア、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

本書の表記ルールについて

記 述	意味	例
解説	その項目での説明内容のポイントを説明します。	
[]	キーボード上のキーを示します。	[OK]
[]+[]	複数のキー操作を示します。	[Shift]+[^]
< >	メニューやコマンド、設定画面の名称などを示します。	<インターネットオプション> 画面が表示されます。
[]	コネクタやランプなどの名称を示します。	【POWER】
<u>*E3</u> F1	知っていると便利な内容について説明します。	
建意	特に注意を必要とする内容について説明します。	
補足	補足的な内容や注意を必要とする内容について説明します。	
』 確認	接続や設定の途中で確認していただく内容について説明します。	
準備	接続や検証の前に準備していただく内容について説明します。	
Win	Windows95/98/Me/2000/XPでの操作を説明します。	
Mac	Macintosh での操作を説明します。	

/コンの基本操

マウスの操作

名称設定などの文字入力を除きパソコンでの操作はマウスを使っておこなうことができます。 机などの平らな面でマウスを動かすと画面上のマウスポインタが動きます。 ここではマウス操作の基本的な用語を紹介します。

Win

クリック マウスの左ボタンを1回押します。

右クリック マウスの右ボタンでアイコンをクリックして、「ショートカットメ

ニュー」を表示させることができます。

マウスの左ボタンを2回続けて、すばやく押します。 ダブルクリック

ドラッグ&ドロップ マウスの左ボタンを押しながら、すべらせるように移動し、目的の場

所でボタンを離します。



クリック

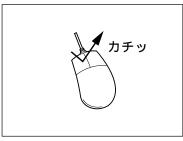
マウスのボタンを1回押します。

Vac グブルクリック マウスのボタンを2回続けて、すばやく押します。

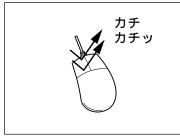
ドラッグ&ドロップ マウスのボタンを押しながら、すべらせるように移動し、目的の場所 でボタンを離します。



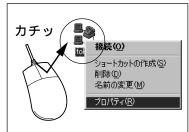
クリック



ダブルクリック



右クリック (Windows のみ)



Macintosh の場合、マウスのボタンは1つです。

日本語入力の切り替え

名称設定などの文字入力はキーボードを使います。

入力したい文字が日本語(全角文字)か、または英数字や記号(半角文字)かによって、日本語入 カシステムの切り替えをおこないます。メールアドレスやパスワードを入力するときは、日本語入 力を「オフ」にします。



本書では、日本語入力システム「Microsoft IME2000」での切り替え手順を説明します。

日本語入力の切り替え方法

[半角/全角]を押してオン/オフを切り替えます。

*E>F!

- ・MS-IME97以前の入力システムをお使いの場合には、[AIt]+[半角/全角]で切り替えます。
- ・タスクバーの
 をクリックし、<ひらがな(H) > をクリックするとオン、直接入力をクリックするとオフに切り替えることができます。

日本語入力オン/オフの確認

画面右下のタスクバーのアイコンで確認できます。





本書では、「ことえり」での切り替え手順を説明します。

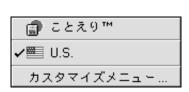
入力メニューの切り替え方法

日本語入力をするときには、 入力メニューから (ことえり)を、英数字や記号を入力するときは 入力メニューから (U.S.) を選択します。

入力メニューの切り替えの確認

画面右上の入力メニューから確認できます。

日本語入力 英数字・記号入力



記号の読み方と入力のしかた

ホームページのアドレスや電子メールのアドレスでは特殊な記号を使います。 ここでは主な記号の入力のしかたと読み方を説明します。

		Win	Mac
-	(ハイフン) [-] を押します。	= &	= - #
:	(コロン) [:]を押します。	* ケ : け	: *
~	(チルダ) [Shift]+[^]を押します。	Ŷ Shift - 々	shift
/	(スラッシュ) [/]を押します。	? .	/80°
	(ドット) [.]を押します。	<u>> °</u>	<u>2</u>
_	(アンダーバー) [Shift]+[_]を押します。	Ĥ Shift	shift
@	(アットマーク) [@]を押します。	(a)	@



キーボードによってはキー配列が異なる場合があります。

*E>F!

PC-9800 シリーズでは~(チルダ)入力は[Shift]+[~]を押します。

ADSL モデムについて

安全にお使いいただくために

本書では、本製品を安全にお使いいただくために、いろいろなマークで注意していただきたいことを説明しています。これらの注意事項を無視して誤った取り扱いをしないよう十分気を付けてください。

本書では製品を安全にお使いいただくために、以下のマークを使用しています。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり 重傷を負う可能性があることを示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生することを示しています。

誤った取り扱いによるお客様への損害を防止するために、以下のマークを使用して説明しています。

禁止	禁止事項を示しています。
感電注意	感電の可能性があることを示しています。
高温注意	高温による傷害の可能性があることを示しています。
発火注意	発煙または発火の可能性があることを示しています。
か注意 けが注意	けがを負う危険性があることを示しています。
電源プラグを抜く	電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。
アース線を接続する	アース線を必ず接続するように指示するものです。



注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス A 情報処理 装置です。



藝生

異物を混入させないでください。

開口部や隙間から、内部に液体をこぼしたり、異物を入れないでください。

ショートや発火の原因となります。



警告

不安定な場所には配置しないでください。 傾いた場所や狭い場所等には置かないでください。

落ちたり倒れたりして、けがをする恐れがあります。



警告

タコ足配線をしないでください。

定格 15A 以上のコンセントを単独で使用してください。

タコ足配線は発火の原因になったり、電源使用量がオーバーしてブレーカーが落ち、 他の機器に影響を及ぼす可能性があります。



濡れた手で触れないください。

濡れた手では、絶対に触れないでください。

また、濡れた手や汚れた手でケーブルを抜き差しし ないでください。

感電する恐れがあります。

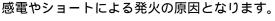




藝生

AC アダプタの抜き差しにコードを持たないでください。

ACアダプタを抜き差しする場合は、コードを持たないでACアダプタを持って行ってください。ACアダプタにほこりがついていないことを確認し、根元まで確実に差し込んでください。また、グラグラするコンセントは使用しないでください。





警告

電源コード、ケーブルをねじったり、踏みつけたりしないでください。

電源コードや接続ケーブルを傷つける、破損する、加工する、無理に曲げる、引っ 張る、ネジる、束ねる等、しないでください。また、重いものを載せる、踏みつけ る、挟みこむなど、しないでください。

コードやケーブルが破損し、火災や感電の原因となります。



警告

使用する電圧を間違えないでください。

定められた電源電圧以外では使用しないでください。

感電や発火の原因となります。



擎生

異常な熱・煙・音・臭いがする場合は、すぐに使用を中止してACアダプタを抜い てください。

ADSL モデム使用中に、もしも、このような異常が生じた場合は、すぐに使用を中止して電源コードを抜いてください。

そのまま使用すると、感電や発火の原因になります。



分解、修理、改造は絶対にしないでください。

修理技術者以外の人は、絶対に、ADSL モデムの分解、修理、改造を行わないでくだ さい。

感電、発火の原因になります。



カバーをあけないでください。

感電ややけどの原因になります。

また、カバーをあけられた場合は、保証の対象外となります。



通気孔をふさがないでください。 注意

通気孔をふさがないでください。

冷却効果が低下して内部の温度が上昇し、装置の故障や発火の原因となります。



湿度の高い場所で使用しないでください。 注意

湿度の高い場所での保管や使用はしないでください。

感電の原因となることがあります。



温度差の大きい場所へ移動したら、すぐには使用しないでください。

ADSLモデムを寒い所から急に暖かいところに移動させたときは、本体内部に結露が 発生し、故障の原因となります。万一結露した場合は、電源を切った状態で放置し ておき、完全に乾燥させてから電源を入れてください。



注意

火気に近付けないでください。

ストーブなどの火気に近付けないでください。

装置の変形によるショート、発火や装置温度の上昇による装置破壊の原因となります。



使用中にケーブルを誤って外さないでください。 注意

ケーブルに足など引っ掛けないでください。

使用中にケーブルが抜けると、大切なデータを失うことがあります。



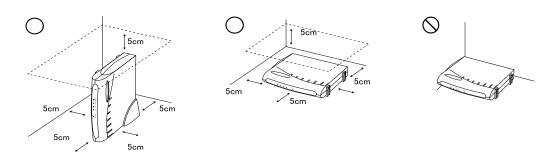
長時間使用しないときは、ACアダプタを抜いてください。

長時間ご使用にならないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

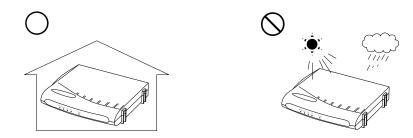
設置するときのご注意

ADSL モデムを設置するときは、以下のことに注意してください。

ADSL モデムの前後左右 5cm、上 5cm には、壁や物がない場所に設置してください。 換気が悪くなると本体内部の温度が上がり、故障の原因になります。



屋外には設置しないでください。 屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。

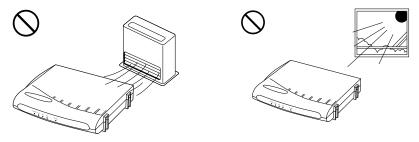


温度 5 ~ 40 ・湿度 5% ~ 85%で、結露しない場所に設置してください。 温度や湿度がこの範囲を超えたり、結露が発生すると故障の原因になります。

*E>F!

結露とは、空気中の水蒸気が金属板の表面などに付着し、水滴となる現象です。本製品を寒い場所から急に温かい場所に移動させたようなときには、本体内部に結露が発生し、故障の原因となります。万一結露した場合は、電源を切った状態で放置しておき、完全に乾燥してから電源を入れてください。

直射日光のあたる場所や暖房器具の近くには設置しないでください。 故障の原因となります。



水や油などの液体や湯気のかかる場所には設置しないでください。 故障の原因になります。



ほこりの多い場所には設置しないでください。 故障の原因になります。



衝撃のかかる場所には設置しないでください。 故障の原因になります。



梱包箱やビニール袋に入れたまま使用しないでください。 本体内部の温度が上がり、故障や発火の原因になります。



接続しているケーブル類を踏まないような場所に設置してください。ケーブルを踏むと感電や故障の原因になることがあります。



パッケージの内容の確認

本製品のパッケージの中には、ADSL モデム本体や付属品が同梱されています。 パッケージを開けたら全てがそろっているかご確認ください。

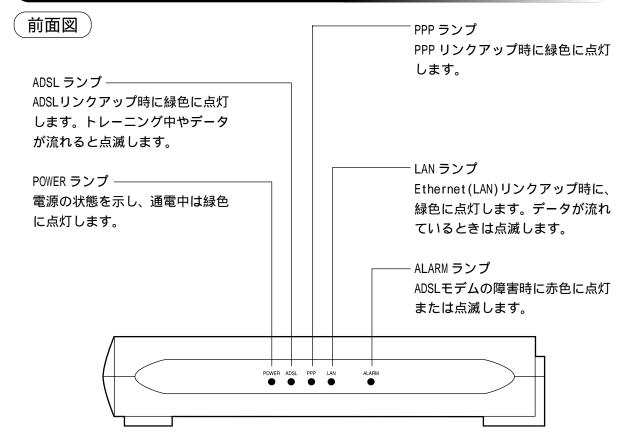
ADSL モデム	1台
縦置き台	1個
電話線(RJ-11 モジュラーケーブル約3 m)	1本
スプリッタ	1個
電話線(RJ-11 モジュラーケーブル約 20cm)	1本
AC アダプタ	1個



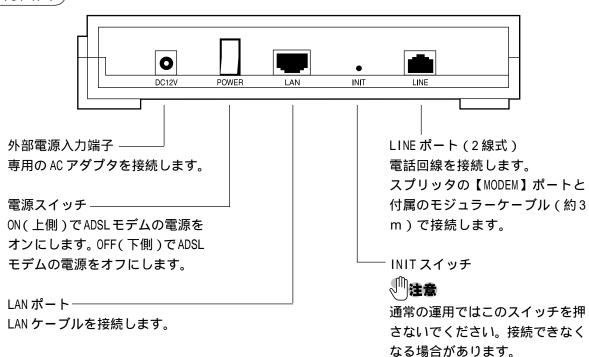
注意

- 専用回線タイプ(電話重畳なし)でご契約の場合は、スプリッタ、電話線(RJ-11 モジュラーケーブル、約20cm)は不要です。
- LAN カード、LAN ケーブルなどは ADSL モデムの ADSL ランプにて開通を確認後に、お客様にて ご用意ください。

各部の名称と機能



背面図



<u>セットア</u>ップの流れ

ADSL モデムの設置 P.14

ADSL モデムを電話回線に接続する

電話共用タイプの場合 専用回線タイプの場合

(タイプ1:電話重畳あり) P.15 (タイプ2:電話重畳なし) P.17

ADSL モデムの電源を接続する P.18

ADSL モデムのランプを確認する P.19

パソコンに LAN カード (または LAN ボード)を取り付ける P.20

LAN カード (または LAN ボード) と ADSL モデムを接続する1台のパソコンを接続する場合複数台のパソコンを接続する場合P.22

パソコンの設定			
Windows95/98/Me/2000の場合	P.24	Mac OSの場合	P.29
WindowsXPの場合	P.26	Mac OS Xの場合	P.30

ADSL モデムの設定 管理メニューを表示する P.33 基本設定 P.34 セキュリティの設定 P.37

以上でインターネットへ接続するまでの設定は完了です。

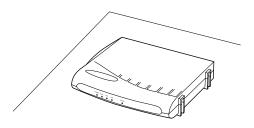
機器の設置と接続

ADSL モデムの設置

この ADSL モデムは、次のように「横置き」「縦置き」が可能です。

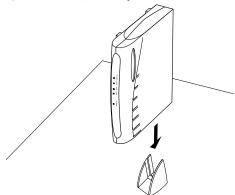
横置きの場合

安定した水平なところに横置きにしてください。付属の縦置き台は必要ありません。



縦置きの場合

付属の縦置き台を ADSL モデムにはめ込みます。本体後部の足に沿って奥まで押し込んでください。 安定した水平なところに縦置きしてください。



建意

- ADSL モデムの前後左右 5cm、上 5cm には、壁や物がない場所に設置してください。 換気が悪くなると本体内部の温度が上がり、故障の原因になります。
- パソコン、電話機、テレビ、携帯電話などの近くに設置すると、通信速度が低下したり、通信が切断される場合があります。各機器から 50cm 以上離して設置してください。

ADSL モデムを電話回線に接続する

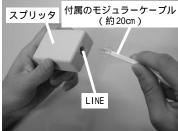
解説。

ADSLモデムを使用する場合、既存の電話機と電話回線の間にスプリッタを接続し、スプリッタから ADSL モデムおよび既存の電話機等を接続します。スプリッタは、ADSL 通信用の高周波と電話通話用の低周波を分離する役割を持っています。ここでは、スプリッタ、ADSL モデムを電話回線に接続する方法を説明します。ただし、電話回線と共用しない場合には、スプリッタは使用しません。

電話共用タイプの場合(タイプ1:電話重畳あり)

(単意

- 工事業者により既に配線されている場合は下記の作業は不要です。 「ADSL モデムのランプを確認する」(P.19)に進んでください。
- お客様の宅内配線によっては、下記の接続手順と異なる場合があります。
- 1 スプリッタの【LINE】と壁のモジュラージャックを付属のモジュラーケーブル(約20cm)で接続します。





沙注意

スプリッタより NTT 側 (上流側) に電話機や FAX などの装置を接続しないでください。 また、スプリッタより NTT 側 (上流側)で宅内の電話回線が分岐されていないことをご確認ください。

2 既存の電話機や FAX をスプリッタの【PHONE】 に接続します。



補足

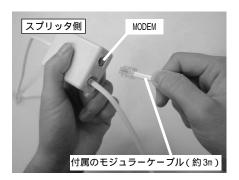
- ここで、電話の受話器を上げて、「ツー」という音が聞こえることを確認してください。
- 全く音がしない(無音)の場合には、P.16の配線図を参照し、配線をご確認ください。

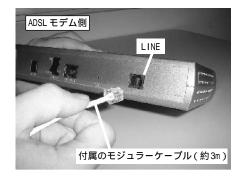


ISDN 回線からアナログ回線に変更した場合には...

TA (ターミナルアダプタ) やダイヤルアップルータなどのアナログポートに接続されている電話機や FAX をはずし、スプリッタの【PHONE】に接続します。

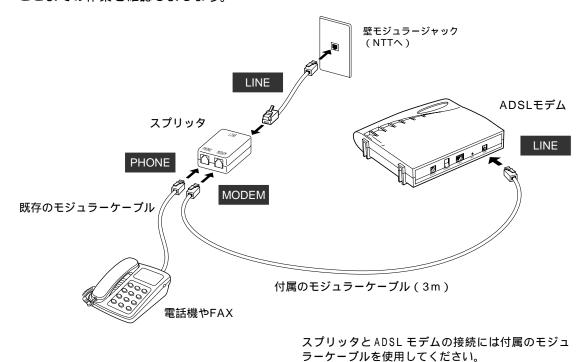
3 スプリッタの【MODEM】と ADSL モデムの【LINE】を付属のモジュラーケーブル(約3m)で接続します。





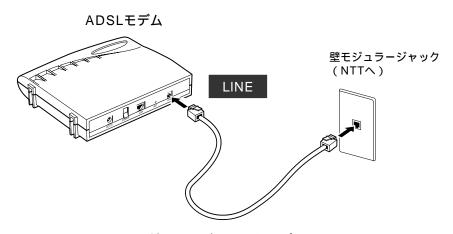
企成 配線図

- モジュラーケーブルは、「カチッ」と音がするまでしっかりと接続してください。
- ここまでの作業を確認しましょう。



専用回線タイプの場合(タイプ2:電話重畳なし)

壁モジュラージャックと ADSL モデムの【LINE】を付属のモジュラーケーブルで接続します。

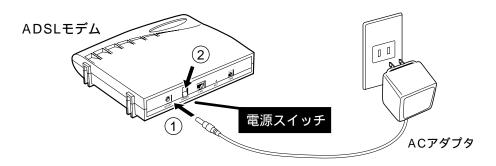


付属のモジュラーケーブル (3m)

スプリッタは不要です。

ADSL モデムの電源を接続する

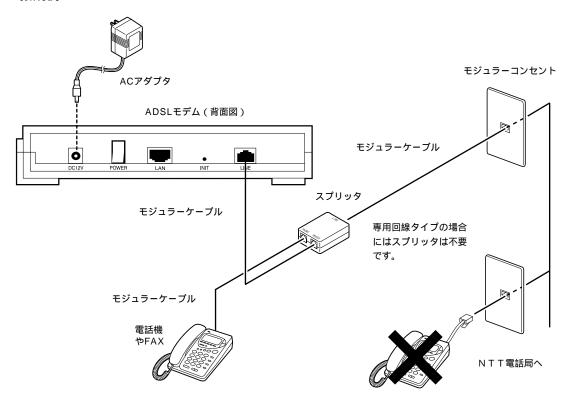
付属の AC アダプタを、ADSL モデム背面の【DC 12V】(外部電源入力端子)に接続し()、電源スイッチを【ON】側にセットします。()



☑確認 ここまでの接続を確認します。

お客様によっては配線が異なる場合があります。

<接続例>



建意

スプリッタより上流や(NTT側)に何らかのアダプタや装置が取り付けられている場合、ADSL通信ができない、または十分な速度が得られないことがあります。

建意

別の場所にモジュラーコンセントがあり分配されている場合ここには電話機を接続しないでください。

ADSL モデムのランプを確認する

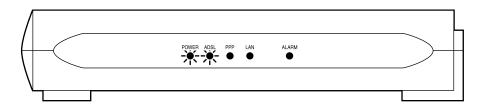
- **1** ADSL モデムの電源を入れると、自動的にセルフテストが行われます。
 - 約1~3分間そのままお待ちください。

確認

前面のランプが一度すべて点灯し、セルフテストが行われます。

その後、【ADSL】ランプが点滅し、ADSLの接続が確立すると、【ADSL】ランプが点滅から**点灯**に変わります。

 ${f 2}$ 【POWER】ランプと【ADSL】ランプが緑色に点灯していることを確認してください。



正常にランプが点灯しない場合には「困ったときには」(P.45)をご参照ください。



- *【PPP】ランプは、インターネット利用中に**緑色**に点灯します。
- *【LAN】ランプは、LAN ケーブルをパソコンに接続し、パソコンの電源が入っているときに緑色に点灯します。
- *【ADSL】ランプと【LAN】ランプは回線にデータが流れているときに緑色に一瞬、点滅します。

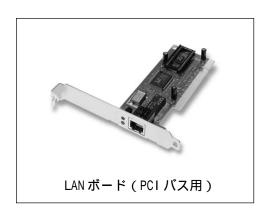
パソコンに LAN カードを取り付ける



LAN ボード (LAN インターフェース)を内蔵しているパソコンをご利用の場合は...

10BASE-T または100BASE-TX 対応のLAN ボードが内蔵されているパソコンではこの作業は必要ありません。ただし、内蔵LAN ボードが使用不可になっている場合がありますので、各パソコンの取扱説明書をお読みの上、使用できるよう設定してください。この設定がわからない場合には、パソコンのメーカへお問い合わせください。

ADSL をご利用いただくには、LAN カード(またはLAN ボード)が必要です。ADSL モデムの ADSL ランプにて開通を確認後、ご利用になるパソコンに適したものなどをご用意ください。10BASE-T/100BASE-TX の両方に対応している LAN カードや LAN ボードもご利用いただけます。パソコンの機種・型番・スロットの空き状況を確認の上、最寄のパソコン販売店などにご相談ください。





LAN カードや LAN ボードおよびパソコンなどの取扱説明書をよくお読みの上、取り付けや設定作業を行ってください。

不明な場合には、ご利用の LAN カードや LAN ボードのメーカへ直接お問い合わせください。

LAN カードと ADSL モデムを接続する

1台のパソコンを接続する場合

ADSL モデム背面の【LAN】ポートとパソコンに取り付けたLANカード(またはLANボード)をLANケーブル (ストレートケーブル)で接続します。

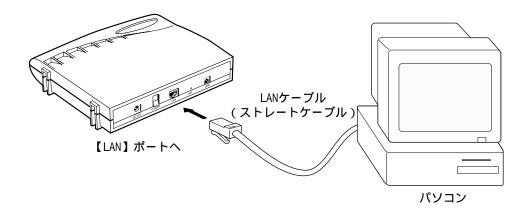
LAN ケーブルはお客様にてご用意ください。 10BASE-T/100BASE-TX の両方に対応している LAN ケーブルもご利用いただけます。



LAN ケーブル (10BASE-T/100BASE-TX)

注意

LAN ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 タイプがありますが、ADSL モデムと LAN カードや LAN ボードの接続には、必ず「ストレートケーブル」をご用意ください。



建意

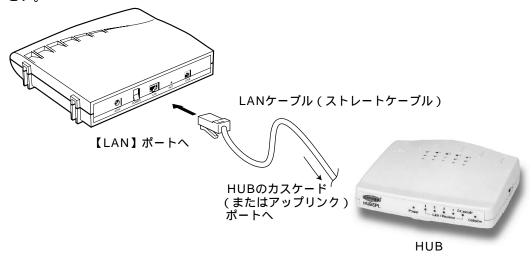
コネクタはカチッと音がするまでしっかりと接続してください。

複数台のパソコンを接続する場合

ADSL モデム背面の【LAN】ポートと HUB のカスケードポート (またはアップリンクポート)を LAN ケーブル (ストレートケーブル) で接続します。

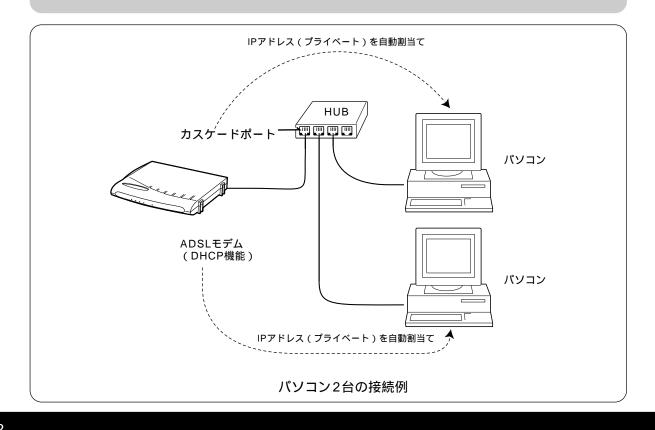
LAN ケーブルおよび HUB などはお客様にてご用意ください。

カスケードポート(またはアップリンクポート)については、HUBの取扱説明書をご参照ください。



注意

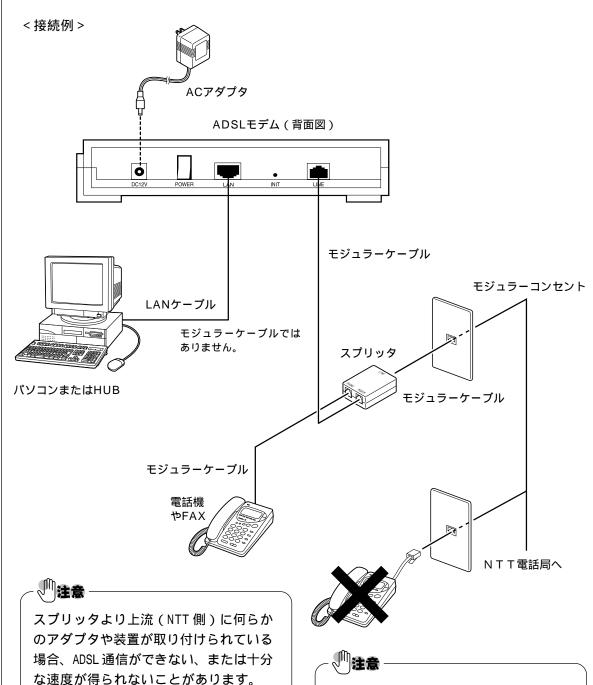
コネクタはカチッと音がするまでしっかりと接続してください。



機器の接続確認

確認

ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 お客様によって配線が異なる場合があります。



23

別の場所にモジュラーコンセントがあり 分配されている場合ここには電話機を接

続しないでください。

パソコンの設定

既にパソコンの設定が終わっている場合には、この設定は不要になります。「ADSLモデムの設定」(P.33)に進んでください。

Windows95/98/Me/2000 の場合

解説,

ここでは、パソコンを ADSL モデムに接続できるように設定する手順を説明します。 <インターネット接続ウィザード > を使って OS が WindowsMe、WWW ブラウザが Internet Explorer5.5 の例で説明します。

OSやWWWブラウザのバージョンによって選択メニューや手順は異なる場合があります。

1 これを選択します。

画面左下の<スタート> <プログラム> <アクセサリ> <通信> <イン ターネット接続ウィザード>を選択します。

< インターネット接続ウィザードへようこそ> 画面が表示されます。

補足

Internet Explorer4.0の場合には <スタート> <プログラム> < Internet Explorer > 〈接続ウィザード〉 から起動できます。

2 ここをチェックします。

< インターネット接続を手動で設定するか、またはローカル エリア ネットワーク(LAN)を使って接続します(M) > をチェックします。

3 次へをクリックします。

<次へ(N)>をクリックします。

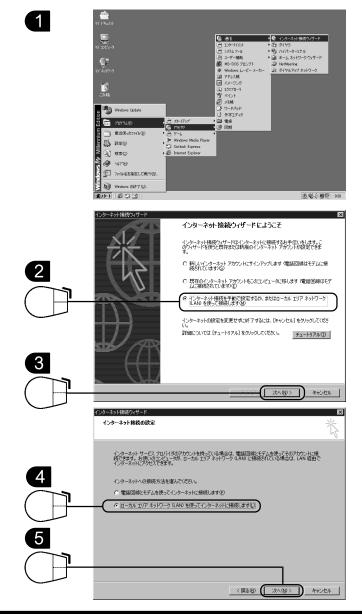
4 ここをチェックします

<インターネット接続の設定>画面が表示されます。

<ローカルエリアネットワーク(LAN)を 使ってインターネットに接続します(L)> をチェックします。

5 次へをクリックします。

<次へ(N) > をクリックします。



6 チェックをはずします。

< ローカルエリアネットワークのインターネット設定 > 画面が表示されます。<プロキシサーバーの自動検出[推奨](A) > のチェックをはずします。

たうト!

<自動設定スクリプトの使用(S)>、

<プロキシサーバーの自動設定(M)>も チェックされません。

7 次へをチェックします。

<次へ(N)>をクリックします。

8 これをチェックします。

< インターネットメールアカウントの設定 > 画面が表示されます。

< インターネットメールアカウントを設定しますか? > は < いいえ(0) > をチェックします。

9 次へをクリックします。

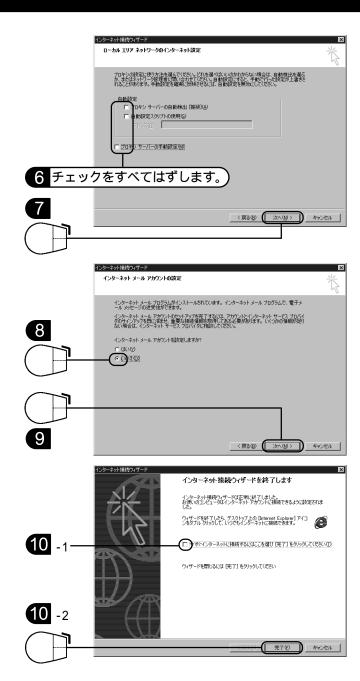
<次へ(N)>をクリックします。

10 完了をクリックします。

< 今すぐインターネットに接続するにはここを選び[完了]をクリックしてください(T) > のチェックをはずし、< 完了 > をクリックします。

11パソコンを再起動します。

ここでパソコンを再起動してください。



パソコンの再起動後、「ADSL モデムの設定」(P.33)に進んでください。

建意

既にLANのネットワークを組んでおり、IPアドレスを固定にされている方は、「TCP/IPを確認する」(P.54)を確認してください。

解説。

ここでは、<新しい接続ウィザード>を使ってWWWブラウザがInternet Explorer6の例で説明します。

WWWブラウザのバージョンによって選択メニューや手順は異なる場合があります。 既にパソコンの設定が終わっている場合には、この設定は不要になります。 「ADSL モデムの設定」(P.33)に進んでください。

1 これを選択します。

画面左下の<スタート> <コントロールパネル>を選択します。

- <スタート> <マイコンピュータ> <コントロールパネル>のように開 くこともできます。
- <スタート> <接続> <すべ ての接続を表示>によって<ネット ワーク接続>の画面から開くこともで きます。

2 ここをダブルクリックします。

< ネットワークとインターネット接続 > をクリックします。

3 ここをクリックします。

< ネットワーク接続 > をクリックしま す。







4 ここをクリックします。

< 新しい接続を作成する > をクリックすると、 < 新しい接続ウィザード > の画面が表示されます。

5 次へをクリックします。

<次へ(N)>をクリックします。

6 ここをチェックします。

< インターネットに接続する(C) > を チェックします。

7 次へをクリックします。

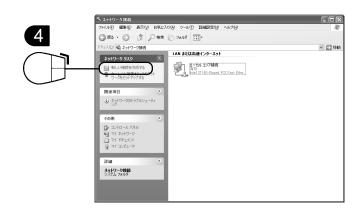
<次へ(N)>をクリックします。

8 ここをチェックします。

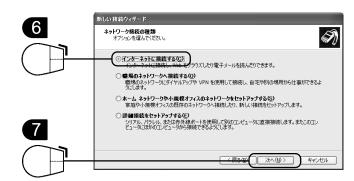
<接続を手動でセットアップする(M)> をチェックします。

9 次へをクリックします。

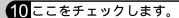
<次へ(N) >をクリックします。











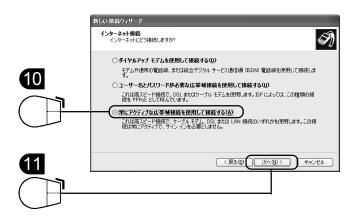
< 常にアクティブな広帯域接続を使用する(A) > をチェックします。

11次へをクリックします。

<次へ(N)>をクリックします。

12 完了をクリックします。

<完了>をクリックします。





13パソコンを再起動します。

ここでパソコンを再起動してください。

パソコンの再起動後、「ADSLモデムの設定」(P.33)に進んでください。



既にLANのネットワークを組んでおり、IPアドレスを固定にされている方は、「TCP/IPを確認する」(P.54)を確認してください。

Mac OS の場合

解説,

ここではMac OS 9を使ったインターネット接続設定を説明します。 ご利用のOS バージョンによって表示が異なる場合があります。 既にパソコンの設定が終わっている場合には、この設定は不要になります。 「ADSL モデムの設定」(P.33)に進んでください。

EZF!

IPアドレスの取得はADSL モデムのDHCP(Dynamic Host Configration Protocol)機能を利用しています。DHCP接続では、パソコンの起動時にIPアドレスを自動的に割り当てます。Macintoshでの接続の場合、DHCP接続をサポートした「TCP/IP(Open Transport Ver.1.1以上)」が必要です。なお、「MacTCP」はDHCP接続をサポートしていないため、接続できません。

TCP/IP の設定

1 これを開きます。

<アップルメニュー> < コントロールパネル> < TCP/IP > を開きます。

2 これを選択します。

経由先に < Ethernet > を選択します。

3 これを選択します。

設定方法に < DHCPサーバを参照 > を選択 します。

了確認

- < IP アドレス > には自動的に <サーバを参照 > が表示されます。
- その他の項目は空白のままで結構 です。

4 これを閉じます。

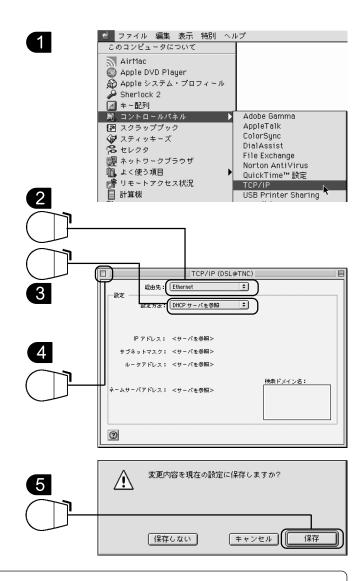
< TCP/IP > 画面を閉じます。

5 これをクリックします。

< 変更内容を現在の設定に保存しますか? > と表示された場合には < 保存 > を クリックします。

6 パソコンを再起動します。

ここでパソコンを再起動してください。



パソコンの再起動後、「ADSL モデムの設定」(P.33)に進んでください。

Mac OS X の場合

建意

Mac OS X 環境で < インターネット接続アシスタント > が起動するのは、OS をインストールした 直後だけです。そこでインターネットに接続するための各種設定を行わなかった場合は、シス テム環境設定の < ネットワーク > で行います。

パソコンの設定

1 これをクリックします。

Dock 上の < System Preference > をク リックします。 < システム環境設定 > 画 面が表示されます。

2 これをクリックします。

<ネットワーク>をクリックします。

3 表示されます。

<ネットワーク>画面が表示されます。





4 これを選択します。

<場所>に<新しい場所>を選択します。

5 入力します。

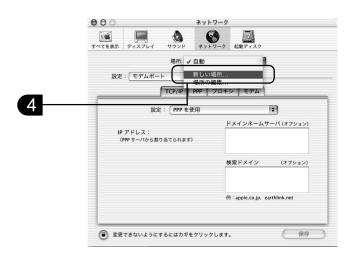
<新しい場所の名前>に任意の名前を入力します。

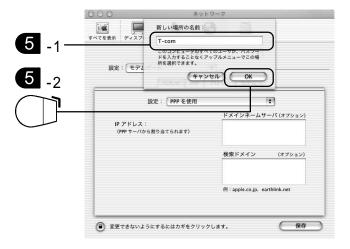
ここでは例として、T-comと入力します。

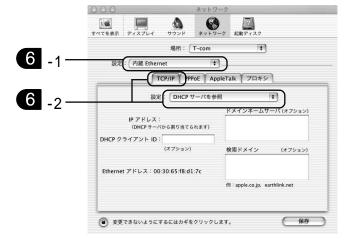
6 表示されます。

<設定>に<内臓Ethernet>を選択します。

< TCP/IP > タブの < 設定 > に < DHCP サーバを参照 > を選択します。







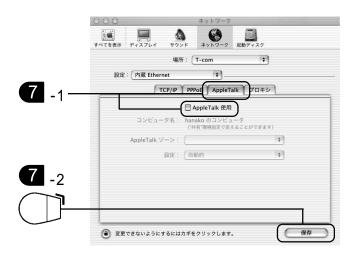
7確認します。

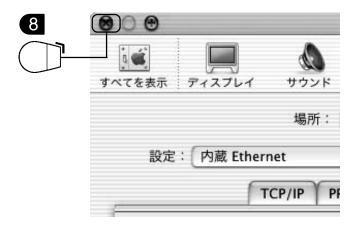
< AppleTalk > タブの < AppleTalk 使用 > がチェックされていないことを確認し ます。 チェックされている場合は、 チェックを外します。

<保存>をクリックします。

8 これを選択します。

画面左上のく閉じる>ボタンをクリックし、<ネットワーク>設定を終了します。 以上でインターネットを接続するための 設定は終わりです。





ADSL モデムの設定

同封のセットアップツールを参照して設定を行ってください。別紙のマニュアルを ご参照の上、設定を行いますと簡単に ADSL モデムの設定を行うことが出来ます。 簡セットアップツールで設定を行うと、本マニュアルによる設定は不要になり ます。

上確認

ADSL モデムの管理メニューを表示し、インターネットに接続できるようにするための設定をはじめます。

ここでは Internet Explorer 5.5 を例に説明しています。

管理メニューを表示する

1 ダブルクリックします。

Internet Explorer を起動します。

補足

「ページを表示できません」と表示される場合があります。

2 入力します。

<アドレス>に、「http://192.168.1.1」 と入力し、[Enter]キーを押します。

<ネットワークパスワードの入力> 画面が表示されます。

補足

「IPアドレス」の「192.168.1.1」はADSL モデムの工場出荷時の設定です。

3 入力します。

「ユーザー名」と「パスワード」は次のように入力し < OK > をクリックします。

ユーザー名:root パスワード:root

補足

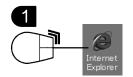
「ユーザー名」とパスワードの「root」は ADSLモデムの工場出荷時の設定です。

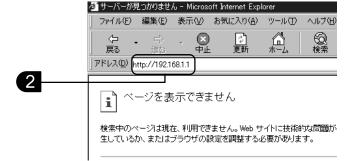
4表示されます。

ADSL モデムの管理メニューが表示されます。

^E>F!

各設定項目の詳しい説明を読みたい場合は、管理メニューのヘルプを見ることができます。ページ右上の<?>、または各項目の項目名をクリックします。





表示される画面は異なる場合があります。





1 ここをクリックします。

右フレームに<設定の選択>画面が表示されていることを確認し、No.1の<編集する>をクリックします。

• <基本設定>画面が表示されます。

2 入力します。

<設定の名称 > に、ご利用のプロバイダ 名を入力します。ここでは例として「isp」 と入力します。

その他の項目は初期値のままで結構です。

*E2+1

• <設定の名称 > には、この画面で設定する内容がわかるようなタイトルをつけます。半角英数字で任意の名前を設定できます。

3 ここをクリックします。

<設定>をクリックします。

• <引き続き接続先の設定を行ってく ださい。>というメッセージが表示 されます。

4 ここをクリックします。

< OK > をクリックします。

補足

既に設定済の場合は、このダイアログは 表示されません。









• <基本設定(接続先の設定)>画面が表示されます。

5 設定します。

補足

その他の項目は初期値のままで結構です。

各項目を右のように設定します。

6 ここをクリックします。

<設定>をクリックします。

<基本設定>画面に戻り、機器の 再起動を促すメッセージが表示されます。



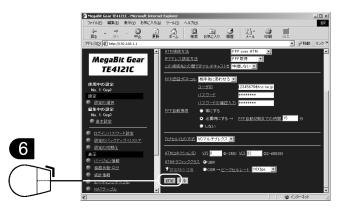
5

接続先の名称 ご利用のプロバイダ名を入力します。 ここでは例として「ISP」と入力します。 「PPP over ATM」を選択します。 ATM 接続方法 IPアドレス設定方法 「PPP 取得」を選択します。 ユーザ ID 「ADSL接続用ユーザID」を半角英数で入 力します。 「@」以降も必ず入力してください。 ADSL 接続用のユーザパスワードを半角 パスワード 英数で入力します。 パスワードの確認入力 ユーザパスワードをもう一度半角英数で 入力します。 「必要時にする」を選択し、「PPP 自動切 PPP 自動接続 断までの時間」を「15」分に設定しま

す。(推奨設定)



ユーザID、パスワードはご利用のISPによって異なります。



7 ここをクリックします。

< 機器の再起動画面へ > をクリックします。または左フレームの「機器再起動」をクリックします。

• <機器の再起動 > 画面が表示され ます。

8 ここをクリックします。

- < 再起動 > をクリックします。
- ADSL モデムが再起動し、ADSL モデム のランプが点滅します。

9 ここをクリックします。

しばらく待ってADSLモデムの【ADSL】ランプが点灯したら、〈再表示〉をクリックします。

• 管理メニューが再読み込みされ、 < 設定の選択 > 画面が表示されます。

10 確認します。

確認

No.1に、<基本設定>画面で入力した、設定の名称が表示され、<動作モード>が「NATルータ」、<使用>が「使用中」になっているか確認します。









ここで接続のための設定は完了ですが、お客様のADSLモデムの設定内容を保護するため、次ページの「セキュリティの設定」を行ってください。

10

セキュリティの設定

解説.

お客様の ADSL モデムを不正アクセスから守るためにセキュリティの設定をします。 ADSLモデムの管理メニューが外部ネットワークから参照されたり、書き込みされたり しないように、外部からは ADSL モデムにアクセスできないようにします。

以下の設定では、ADSLモデムのWAN側に受信するパケットについて、WWWポートおよび FTP 関連のポートのアクセスを禁止します。

簡易セットアップツールで設定を行った場合には、本マニュアルによる設定は不要になります。

建意

< IP フィルタ設定 > で誤った設定をすると、管理メニューにアクセスできなくなったり、インターネットに接続できなくなることがあります。入力したら、内容が間違っていないか必ず確認してください。

また、以下のフィルタ設定は、モデムの設定内容のみを保護するためで、お客様のLAN(パソコン)のセキュリティを保護するための設定ではありません。

*E>F!

< IPフィルタ設定>で入力する英数字はすべて半角で入力します。

1 表示します。

ADSL モデムの管理メニューを表示します。(P.33 を参照)

2 ここをクリックします。

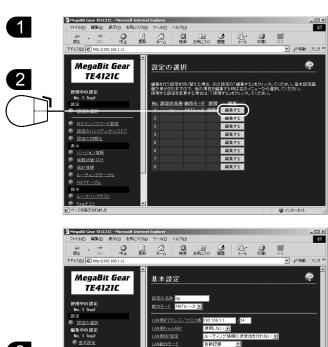
右フレームに < 設定の選択 > 画面が表示されていることを確認し、No.1の < 編集する > をクリックします。

<基本設定>画面が表示され、左フレームのメニューが変わります。

3 ここをクリックします。

左フレームの < IPフィルタ > をクリック します。

< IPフィルタ設定 > 画面が表示されます。



リース時間

4 ここをクリックします。

No. の < 1 > をクリックします。

• 画面が切り替わります。

5 設定します。

各項目を右のように設定します。

6 ここをクリックします。

<設定>をクリックします。

• No.1のIPフィルタが設定され、< IP フィルタ設定>画面が表示されます。

7 ここをクリックします。

No. の < 2 > をクリックします。

• 画面が切り替わります。



5

優先度 インターフェース

プロトコル

送信元 IPアドレス / マスク長 送信先 IPアドレス / マスク長 「1」と入力します。

「isp (PPP 取得)から受信」を

選択します。

「isp」の部分はP35手順5で設定 した接続先の名称になります。

「0.0.0.0」/「0」と入力します。 <自分宛て>をチェックし、

「isp (PPP 取得)」を選択します。

「tcp」と入力します。 「*」と入力します。

「80」と入力します。

送信元ポート番号 送信先ポート番号 IP フィルタアクション

「非通過」を選択します。





8 設定します。

各項目を右のように設定します。

9 ここをクリックします。

<設定>をクリックします。

 No.2のIPフィルタが設定され、<IP フィルタ設定>画面が表示されます。

10 確認します。

上確認

IPフィルタが右の画面のように設定されているか確認してください。

これで IP フィルタの設定は終了です。

8

優先度 「2」と入力します。

インターフェース 「isp (PPP 取得)から受信」を選択

します。

「isp」の部分はP35手順5で設定 した接続先の名称になります。

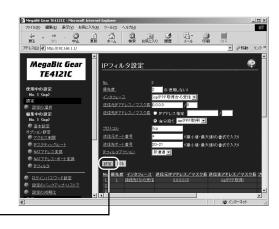
送信元 IPアドレス / マスク長 送信先 IPアドレス / マスク長 「0.0.0.0」/「0」と入力します。 <自分宛て>をチェックし、「isp

(PPP 取得)」を選択します。 「 tcp 」と入力します。

プロトコル 送信元ポート番号 送信先ポート番号

IP フィルタアクション

「*」と入力します。 「20-21」と入力します。 「非通過」を選択します。



9

10

No.	優先度	インタフェース	送信元 IP アドレス / マスク長	送信先アドレス / マスク長
1	1	接続先1から受信	0.0.0.0/0	isp(PPP 取得)
2	2	接続先1から受信	0.0.0.0/0	isp(PPP 取得)

No.	プロトコル	送信元ポート番号	送信先ポート番号	アクション
1	TCP	*	www	非通過
2	TCP	*	20-21	非通過

応用設定

以下の項目は必要に応じて行ってください。

機器状態・ログを参照する

解説。

通信が途切れた時など、障害の有無を参照することができます。 また、ログ内容により機器状態の変化を知ることができます。

1 表示します。

ADSL モデムの管理メニューを表示します。(P.33を参照)

2 ここをクリックします。

左フレームの < 機器状態・ログ > をクリックします。

<機器状態・ログ>画面が表示されます。

3 確認します。

下の内容を確認します。



3



機器状態情報

機器状態情報では以下の情報が参照できます。

・PPP の状態

PPPを使用する設定を行っている場合に、PPPネゴシエーションの状態が表示されます。

確立:PPP リンクが確立されている

LCP 中 : 認証中

IPCP中: IPアドレス取得中停止中: 停止している

· ADSL 回線状態

現在使用中の ADSL 回線の状態を表示します。 接続待ち :局側装置の応答待ち

トレーニング中 : 局側装置と接続を確立するた

めのトレーニングを実行中

通信中(上りxxx kbps 下りxxx kbps)

: 局側装置との接続が確立している。() 内は局側装置との

間の最大速度です。

・ハードウェア状態

ADSL モデムのハードウェア状態を表示します。

正常 :ハードウェアに問題がない 異常 :何らかの異常が検知されている

ログ情報

ログ情報ではADSLモデムが起動直後からメモリ上に蓄積 しているログの内容が最新のものから順に表示されます。

補足

最大 2000 件までのログが蓄積されます。 2000 件を超えると、古いものから順に削除されます。

ログインパスワード変更

解説。

ADSLモデムの設定が書き換えられてしまわないように、管理メニューのログインパスワードを変更しておくことをおすすめします。

外部ネットワークから不正アクセスされたり、LANで複数のユーザが利用している 場合に誤って設定を変更してしまうことを防ぎます。

1表示します。

ADSLモデムの管理メニューを表示します。 (P.33 を参照)

2 ここをクリックします。

左フレームの < ログインパスワード設定 > をクリックします。

くログインパスワード設定>画面が表示されます。

3 ここをクリックします。

< root >をクリックします。

• パスワードを入力する画面が表示されます。

4 入力します。

<パスワード>に、設定したいパスワードを半角英数字32文字以内で入力します。 <パスワードの確認入力>に、もう一度 同じパスワードを入力します。

(川)注意

パスワードを忘れると管理メニューにアクセスできなくなります。忘れないようにメモを取るなどして大切に保管してください。

5 ここをクリックします。

<設定>をクリックします。

パスワードが設定され、<ログイン パスワード設定>画面に戻ります。







解説。

誤って設定してしまった内容を削除したいなどのときは、ADSLモデムを出荷時の 設定で起動することができます。

ここでは、初期設定で起動し、基本設定のNo.1を削除する手順を説明します。

1 表示します。

ADSL モデムの管理メニューを表示します。(P.33を参照)

2 ここをクリックします。

左フレームの < 設定の初期化 > をクリックします。

く設定の初期化>画面が表示されます。

<u>3</u> ここをクリックします。

<初期化>をクリックします。

4 入力します。

この画面がログインパスワードを変更 している方のみ表示されます。 「ユーザー名」と「パスワード」は次のよ うに入力し < OK > をクリックします。

> ユーザー名:root パスワード:root

補足

「ユーザ名」と「パスワード」の「root」 は ADSL モデムの工場出荷時の設定です。







5 ここをクリックします。

- <再起動>をクリックします。
- ADSL モデムが再起動し、ADSL モデム のランプが点滅します。

6 ここをクリックします。

しばらく待ってADSLモデムの【ADSL】ランプが点灯したら、〈再表示〉をクリックします。

• 管理メニューが再読み込みされ、 <設定の選択>画面が表示されます。

7 確認します。

了確認

<設定の名称>がすべて削除され、初期の状態になっていることを確認します。

以上でADSLモデムは出荷時の状態に戻り ました。





7



ログインパスワードを忘れてしまったときには

解説。

変更した管理メニューのログインパスワードを忘れてしまったときには、以下の方法で ADSL モデムを出荷時のパスワード設定で起動することができます。

1 セットします。

ADSL モデムの電源スイッチ【OFF】側に セットします。

2 セットします。

ADSL モデム背面の【INIT】スイッチを先の細いもので押しながら、電源スイッチを【ON】側にセットします。

設定内容が保持されたまま、一時的に工 場出荷状態で立上がります。

3 表示します。

WWWブラウザを起動し、管理メニューを表示します。(P.33を参照)

- 初期設定の管理メニューのアドレスは 「http://192.168.1.1」です。
- 初期設定のログインユーザ名は「root」 パスワードは「root」です。
- 初期設定で起動すると、左フレームの<使用中の設定>に「FACTORY_DEFAULT」と表示されます。

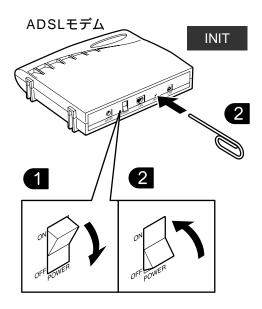
4 ログインパスワードを変更します。

P.41の「ログインパスワード変更」を参 照の上、ログインパスワードを変更しま す。

5 電源を OFF/ON します。

ADSLモデムの電源スイッチを【OFF】側にセットし、ランプが完全に消灯したら【ON】側にセットします。

以上で設定は終了です。



困ったときには

「ADSLモデムの接続方法がわからない」、「モデムランプが正しく点灯しない」、「接続できない」などトラブルが起こった場合の対処方法をご紹介します。

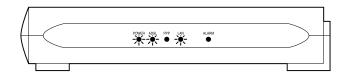
まず ADSL モデムの前面ランプの状況を確認してください。

ADSL モデム編

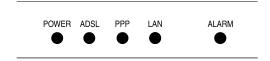
通信可能なランプ状態は?

ADSL モデムとパソコンを正しく接続し、パソコンを起動した時に前面の【POWER】、【ADSL】、【LAN】の3つのランプが点灯している状態が通信が可能な状態です。

「PPP」ランプはインターネット利用中に緑色に点灯します。



【POWER】ランプが点灯しない



- a. ADSL モデム背面の電源スイッチが【ON】になっていますか?
- b. AC アダプタが ADSL モデムに接続されていますか?
- c. AC アダプタがコンセントに確実に接続されていますか?
- d. コンセントに電源がきていますか?他の機器を接続して確認してください。
- e. ADSL モデムの電源を再度 OFF/ON してみてください。



- a. 電話回線(モジュラケーブル)やスプリッタが正しく確実に接続されているか、ご確認くださ L1
- b. 同じ電話回線で、次の機器や装置を利用している場合には、宅内の配線工事が必要になる場合 があります。派遣業者工事(有料)をご利用いただくことをお勧めいたします。派遣工事の申 込は同封のご案内通知を参照してください。
 - ・ホームテレホンやビジネスホン・セキュリティシステム

・ドアホン

・ACR アダプタ(電話機内蔵のものを除く)

- ・ガス自動検針装置
- c. スプリッタより上流(NTT側)に何らかのアダプタや装置、分岐器が取り付けられている場合や 同じ回線上に複数のモジュラジャックがある場合には、ADSL 通信ができない、または十分な速 度が得られないことがあります。
- d. 電話回線や ADSL モデムがパソコン・テレビ・ラジオ・冷蔵庫などの近くにある場合には、50cm 以上離してください。
- e. ADSLでご利用の電話回線を電源ケーブル・CATV/BS/CS放送のケーブルと一緒に束ねている場合 には ADSL 通信が不安定になることがあります。
- f. スプリッタから ADSL モデムまでの電話線は、付属の電話線(約3m)をご利用ください。3m 以上のものを使用している、延長している、束ねている場合には、ADSL通信ができないことが あります。スプリッタからパソコンの間が離れている場合には、LAN ケーブルを長くすることを お勧めいたします。
- g.スカイパーフェク TV のペイパービューシステムを ADSL の電話回線で利用する場合には、スプ リッタの PHONE から分岐してください。スプリッタより上流(NTT 側)に接続すると、ADSL 通信 ができないことがあります。
- h. 壁面のモジュラジャックの中の配線に「ノイズフィルタ」や「ラジオフィルタ」が取り付けられ ている場合には、ADSL 通信ができないことがあります。
- i. ADSLモデムの電源を再度OFF/ON してみてください。
- i. NTT 収容局からお客様宅までの電話回線の環境(電話回線の線路長が長い、ISDN等の干渉を受 けている、など)により、品質が ADSL に適していないため、ADSL サービスをご利用いただくこ とができない可能性があります。

上記「i」の場合に「帯域調整」を行うことによって、ADSL 信号が安定する場合があります。 ご契約先の ISP にご連絡ください。「帯域調整」とは ADSL で使用する周波数帯域を絞ること によって、外部からの影響による ADSL 信号の減衰を防ぎ、接続を安定させることです。」

電話がかかってくると一時的に ADSL 接続が切断される (【ADSL】ランプが点滅する)

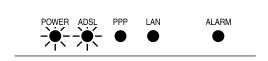
a. 電話回線に取り付けられている保安器(一部型番のもの)が原因で、この現象が発生することが確認されています。この場合、保安器の交換(有料)で改善されることがあります。

全ての状態が改善されない場合もあります。保安器交換をしても状態が改善されない場合に おいても交換にかかった費用はお客様にて負担していただきますのであらかじめご了承くだ さい。

【ADSL】ランプが不定期に点滅する

a. ADSL回線にデータが流れたときに一瞬点滅します。トラブルではありません。

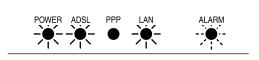
【LAN】ランプが点灯しない



- a. LANケーブル(ストレート)が正しく接続されていて、かつパソコンが起動していることを確認してください。
 - LAN ケーブルのコネクタは「カチッ」と音がするまで、しっかりと差し込んでください。
- b. パソコンに LAN カード (または LAN ボード)が取り付けられており、そのドライバソフトが正しくインストール (設定)されていることをご確認ください。

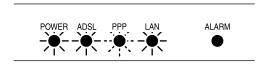
ドライバソフトのインストール方法についてご不明な場合には、LANカード(またはLANボード)のメーカへ直接お問い合わせください。

【ALARM】ランプが点滅する



a. ADSL モデムの電源を再度 OFF/ON してみてください。

【PPP】ランプが赤色点滅と橙点滅をくり返す、または点灯しない



a. ユーザ ID、パスワードが違っている可能性があります。P.35 のユーザ ID、パスワードの設定を確認してください。

Windows95/98/Me/2000/XPのトラブルシューティング

j. Internet Explorer のプロキシの設定を確認する

j. Internet Explorer のプロキシの設定を確認する

現象: ADSL 管理画面が表示されない

i. TCP/IP の設定を確認する

現象: ホームページが表示されない「ページが表示されません」というエラーメ 示される	ッセージが表
a. ホームページアドレス(URL)を確認する	P.49
b. IP アドレスの再取得を行う	P.49
C. 〈コントロールパネル〉 〈システム〉で LAN カード (LAN ボード) の状態を確認する	P.51
d. LAN カード(LAN ボード)のドライバを入れ直す	P.54
e. <コントロールパネル> <ネットワーク>で TCP/IP を確認する	P.54
f. <コントロールパネル> <ネットワーク>で TCP/ IP を入れ直す	P.58
g. Internet Explorerのプロキシの設定を確認する	P.63
h. 時間帯をずらしてアクセスする	P.64
現象: ADSL 管理画面が表示されない	
b. IP アドレスの再取得を行う	P.49
c. LAN カードの状態を確認する	P.51
d. LAN カードのドライバを入れ直す	P.54
e. TCP/IPを確認する	P.54
f. TCP/IPを入れ直す	P.58
g. Internet Explorerのプロキシの設定を確認する	P.63
MacOS のトラブルシューティング	
現象:ホームページが表示されない「ページが表示されません」というエラーメ 示される	ッセージが表
a. ホームページアドレス(URL)を確認する	P.49
h. 時間帯をずらしてアクセスする	P.64
i. <コントロールパネル> < TCP/IP >設定を確認する	P.64

P.65

P.64

P.65

a. ホームページアドレス (URL) を確認する

ホームページアドレス(URL)の入力ミス、全角・半角の誤り、大文字・小文字の誤りがないかどうかを確認します。また、Internet Explorerのスタートページ(起動時に最初に表示されるページ)の設定を確認してください。入力切り替え方法についてはP.3をご覧ください。

全角文字 A B C あいう 1 2 3 大文字 ABC 半角文字 ABC アイウ 123 小文字 abc

ホームページ管理者の都合で、そのページが削除され、ページが存在しない場合もあります。

b. IP アドレスの再取得を行う

1.Windows95/98/Me の場合

1 これをクリックします。

<スタート>ボタン <ファイル名を 指定して実行(R)...>をクリックします。

2 入力します。

< 名前(0) > 欄に半角英数で「winipcfg」 と入力し、 < OK > をクリックします。

- < IP設定>画面が表示されます。
- 入力切り替え方法については P.3 をご 覧ください。

3 LAN カードを選択します。

< >を押してご使用のLANカード(LANボード)を選択します。

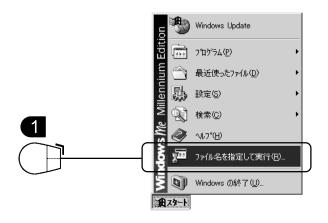
ご使用のLANカード(LANボード)が分からない場合には、ご使用のパソコンまたはLANカード(LANボード)のマニュアルをご参照ください。

4 ここをクリックします。

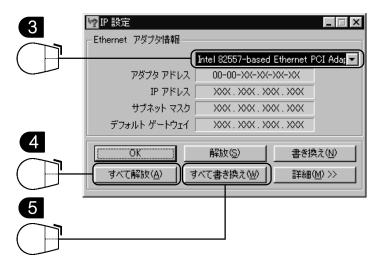
< すべて開放(A) > をクリックし、IP アドレスを開放します。

5 ここをクリックします。

< すべて書き換え(₩) > をクリックし、 IP アドレスを再取得します。







2.Windows2000/XP の場合

1 これをクリックします。

<スタート>ボタン <プログラム> <アクセサリ> <コマンドプロ ンプト>をクリックします。

Windows XPの場合は、<スタート>ボタン <すべてのプログラム> <アクセサリ> <コマンドプロンプト>をクリックします。

2 入力します。

下記コマンドを入力し、Enter キーを押します。IPアドレスの解放がおこなわれます。

解放 :ipconfig /release

注意

- 「ipconfig」と「/」の間には半角スペースが入ります。
- •入力切り替え方法については、P.3をご覧ください。

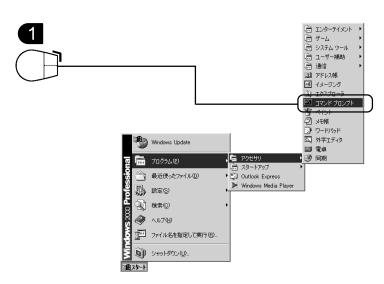
3 入力します。

下記コマンドを入力し、Enter キーを押します。IPアドレスの再取得がおこなわれます。

再取得 : ipconfig /renew

注意

- •「ipconfig」と「/」の間には半角スペースが入ります。
- •入力切り替え方法については、P.3をご覧ください。







c. < コントロールパネル > 〈システム > で LAN カード (LAN ボード) の状態を確認する

1.Windows95/98/Me の場合

1 ダブルクリックします。

デスクトップ上の < マイコンピュータ > < コントロールパネル > < システム > の順でダブルクリックします。

くシステムのプロパティ>ダイアログが表示されます。

2 ここをクリックします。

<デバイスマネージャ>タブをクリック します。

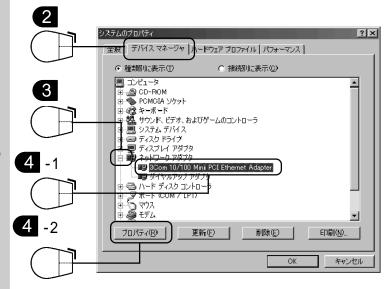
3 ここをクリックします。

<ネットワークアダプタ>をクリックします。

4 ここをクリックします。

ご利用のLANカード(LANボード)を選択し、<プロパティ>をクリックします。

LAN カード (LAN ボード) のダイアロ グが表示されます。



5 確認します。

上確認

- く全般>タブの中の<デバイスの状態>が<このデバイスは正常に動作しています。>と表示されていればOKです。
- それ以外の表示だった場合は、パソコンに付属のマニュアルまたは、LANカード(LANボード)に付属のマニュアルを参照の上、もう一度LANカード(LANボード)のドライバをインストールしてください。

インストール方法等については、パソコンメーカまたは、LANカード(LANボード)のメーカへお問い合わせください。

5



2. Windows2000/XP **の場合**

1 ダブルクリックします。

デスクトップ上の < マイコンピュータ > < コントロールパネル > < システム > の順でダブルクリックします。

Windows XP の場合は、<スタート>ボタン < コントロールパネル> <パフォーマンスとメンテナンス> <システム>をクリックします。

<システムのプロパティ>ダイアログ が表示されます。

2 ここをクリックします。

< ハードウエア > タブの < デバイスマネージャ(D) > をクリックします。

3 ここをクリックします。

< ネットワークアダプタ > をクリックします。

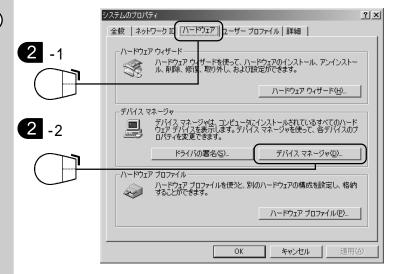
4 ここをクリックします。

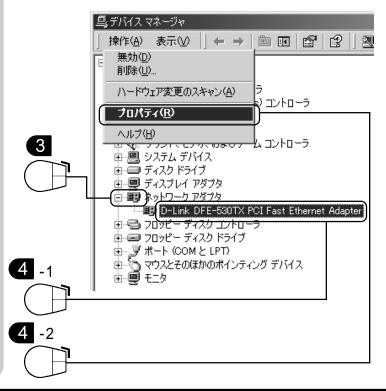
ご利用のLANカード(LANボード)を選択し、<操作(A)>メニューから<プロパティ(R)>をクリックします。

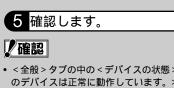
補足

ご利用のLANカード(LANボード)を選択し、右 クリックで<プロパティ>を選択することもでき ます。





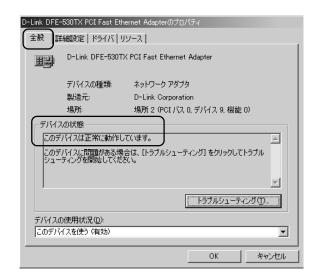




<全般>タブの中の<デバイスの状態>が<こ のデバイスは正常に動作しています。> と表示 されていれば OK です。

• それ以外の表示だった場合は、パソコンに付属 のマニュアル、または、LANカード(LANボード) に付属のマニュアルを参照の上、もう一度 LAN カード(LANボード)のドライバをインストー ルしてください。

インストール方法については、パソコンメーカ またはLANカード(LANボード)のメーカーへ お問い合わせください。



d.LAN カード(LAN ボード)のドライバを入れ直す

上確認

LANカード(LANボード)のドライバが正しくインストールされていない場合には接続できません。 パソコンに付属するマニュアルまたは LAN カード (LAN ボード) に付属のマニュアルをよくお読み の上、ドライバを一度削除した後、再度ドライバのインストールを行ってください。 インストール方法については、パソコンメーカまたはLANカード(LANボード)のメーカにお問合 せください。

5

e. <コントロールパネル> <ネットワーク>でTCP/IPを確認する



会社などで他のLANに接続している場合には、TCP/IPの設定変更をする前に、LAN管理者にご相談ください。



作業の前にWindowsのCD-ROMをご用意ください。

1.Windows95/98/Me **の場合**

1 ダブルクリックします。

デスクトップ上の < マイコンピュータ > < コントロールパネル > < ネットワーク > の順でダブルクリックします。

<ネットワーク>ダイアログが表示されます。

2 確認します。

確認

- < ネットワークの設定>タブの<現在 のネットワークコンポーネント(N)> で、< TCP/IP...>があるかどうか確認 します
- します。
 < TCP/IP (ご利用のLANカード名) > という表示になっている場合もあります。

3 これをクリックします。

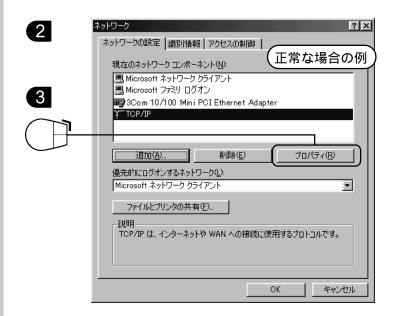
< TCP/IP... > が一つだけあればそれを クリックし、<プロパティ>をクリック します。

• < TCP/IP > 画面が表示されます。



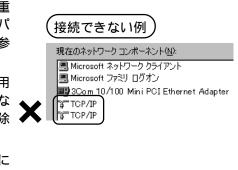
 会社などで他のLANに接続している場合には、 TCP/IPの設定変更をする前に、LAN管理者にご 相談ください。

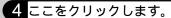






- < TCP/IP > がない場合や全く同じ表示の < TCP/IP > が重複して組み込まれている場合には「f. < コントロールパネル> < ネットワーク > でTCP/IP を入れ直す」を参照して「TCP/IP」を再度入れ直してください。
- 全く同じ表示の < TCP/IP > あるいは < TCP/IP-> (ご利用のLANカード名) > が複数組み込まれていると接続できない場合があります。その場合には、いったんすべて < 削除
 (E) > してから、f. の手順で新たに追加してください。
- Windows 2000/XPをご利用の場合、上記の作業を行う際には、Administrator (コンピュータの管理者)の権限でログインしてください。





< IP アドレス > タブをクリックします。

5 チェックします。

< IP アドレスを自動的に取得(0) > を チェックします。

6 ここをクリックします。

<ゲートウェイ>タブをクリックします。

上確認

<インストールされているゲートウェイ(I)>に何も設定されていないことを確認します。ゲートウェイが設定されていると、接続できない場合がありますので、LAN管理者にご相談ください。

7 ここをクリックします。

< DNS 設定 > タブをクリックします。

8 チェックします。

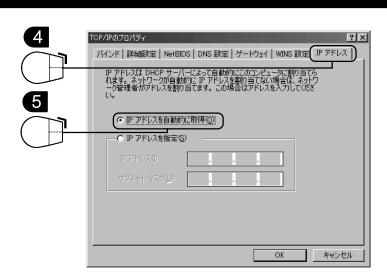
- < DNS を使わない(I) > をチェックします。
- その他のタブは特に設定変更をしません。

9 ここをクリックします。

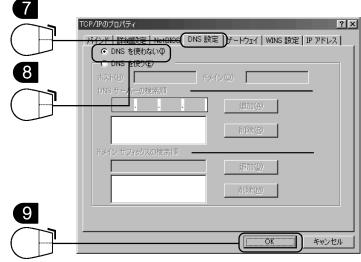
上記の設定を確認したら、< OK > をクリックして<TCP/IPのプロパティ>を閉じます。

10終了します。

< ネットワーク > ダイアログに戻ったら、 < OK > をクリックして < ネットワーク > ウィンドウを閉じます。







たうト!

ネットワーク構成や設定を変更した場合にはパソコンの再起動が必要になります。指示に従って 再起動してください。

また、この際にWindowsのCD-ROMを要求される場合もあります。WindowsのCO-ROMを用意してCD-ROMドライブにセットしてください。



Windows2000/XPは、標準でTCP/IPが組み込まれていますので、最初からDHCPにて自動的にネットワークの取得ができます。通常はそのままで使用できますが、TCP/IPが削除されている場合は f. の手順で追加してください。なお、Administrator (コンピュータの管理者)の権限でログインした上で作業をおこなってください。

1 ダブルクリックします。

Windows XPの場合は、<スタート>ボタン <接続> <すべての接続の表示>をクリックします。

2 ダブルクリックします。

< ローカルエリア接続 > をダブルクリックします。

< ローカルエリア接続 > が複数表示される場合には、お使いになる < ローカルエリア接続 > を選択してください。

Windows XPの場合に、<ローカルエリア接続 > がグレー表示になっている場合には、<ローカルエリア接続 > 上で右クリックし、< 有効にする > をクリックします。

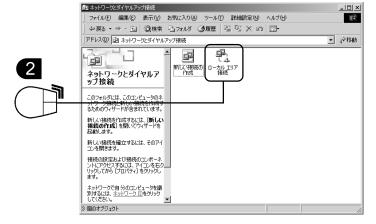
3 ここをクリックします。

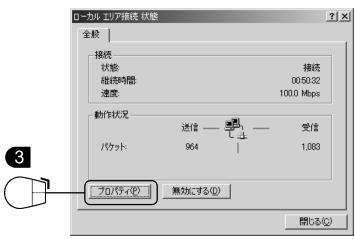
<ローカルエリア接続>の<プロパティ>をクリックします。

Windows XPの場合は、<ローカルエリアの接続の状態>の<全般>タブの<プロパティ>をクリックします。

・ < ローカルエリア接続のプロパティ > 画面が表示されます。







4 確認します。

確認

<全般>タブの<チェックマークがオンに なっているコンポーネント... > に <インターネット プロトコル(TCP/IP)> があるかどうかを確認します。

Windows XPの場合は、<全般>タブの <この接続は次の項目を使用します> に<インターネットプロトコル (TCP/ IP) > があるかどうかを確認します。

5 これをクリックします。

<インターネット プロトコル(TCP/IP)> を選択し、<プロパティ>をクリックし ます。

・ < インターネット プロトコル(TCP/IP) のプロパティ>画面が表示されます。

6 確認します。

確認

- < IP アドレスを自動的に取得する(0) > がチェックされていることを確認します。
- < DNS サーバーのアドレスを自動的に 取得する(B) > がチェックされているこ とを確認します。

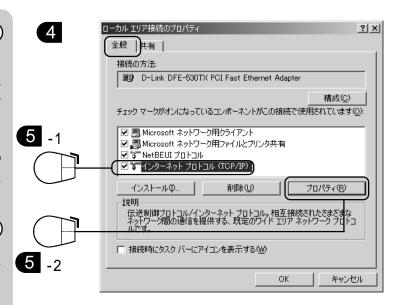
ここをクリックします。

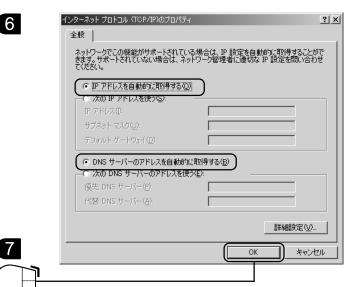
上記の設定を確認したら < OK > をクリッ クします。

8 終了します。

<ローカルエリア接続>の画面に戻った ら < OK > をクリックします。

続いて「g. < Internet Explorerでプロキシの設 定を確認する>」をおこなってください。





f. <コントロールパネル> <ネットワーク>でTCP/IPを入れ直す

注意

会社などで他のLANに接続している場合には、TCP/IPの設定変更をする前に、LAN管理者にご相談ください。



作業の前にWindowsのCD-ROMをご用意ください。

1.Windows95/98/Me **の場合**

1 ダブルクリックします。

デスクトップ上の<マイコンピュータ> <コントロールパネル> <ネットワーク>の順でダブルクリックします。

<ネットワーク>ダイアログが表示されます

2 クリックします。

<ホットワークの設定>タブの<現在のネットワークコンポーネント(N) > で、 <TCP/IP... > あるいは < TCP/IP->(ご利用のLANカード名) > をクリックし、 <削除(E) > をクリックします。

*E>+!

TCP/IPが複数組み込まれていると接続できない場合があります。その場合には、全て<削除>してから、ここで説明する手順に従って追加してください。

3 ここをクリックします。

削除されたら、< OK > をクリックします。 〈ネットワーク設定が完了していませ ん。このまま続けますか? > という メッセージが表示された場合には、 〈はい > をクリックします。

4 再起動します。

Windows を再起動するようにメッセージが表示されるので、 < はい > をクリックして再起動します。

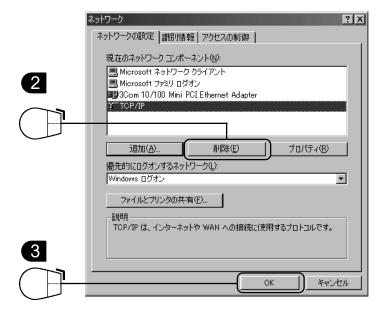
• パソコンの再起動します。

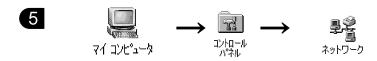
5 ダブルクリックします。

再度 < マイコンピュータ > < コントロールパネル > < ネットワーク > の順でダブルクリックします。

一覧に「TCP/IP」がないことを確認します。

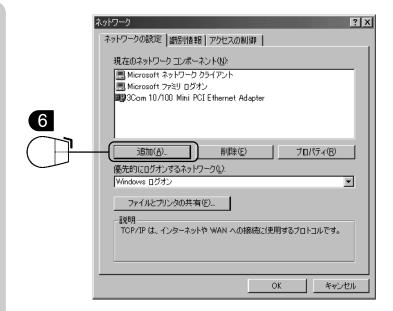






6 ここをクリックします。

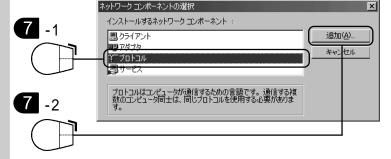
<追加>をクリックします。



7 ここをクリックします。

<プロトコル>を選択し<追加>をクリックします。

<ネットワークプロトコルの選択>画 面が表示されます。

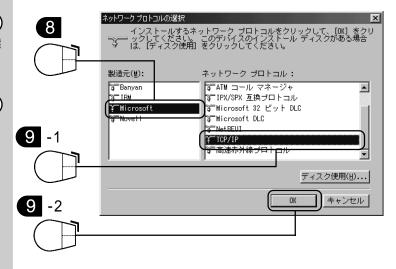


8 ここをクリックします。

<製造元(M) > から < Microsoft > を選択します。

9 ここをクリックします。

< ネットワークプロトコル: > から < TCP/IP > を選択し、< 0K > をクリッ クします。



10 ここをクリックします。

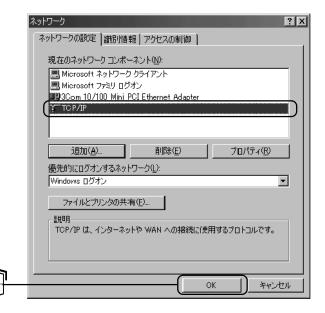
確認

• < TCP/IP > が組み込まれたことを確認 して、 < OK > をクリックします。

Windows を再起動するようにメッセージが表示されるので、 < はい > をクリックして再起動します。

*E>+!

ネットワーク構成や設定を変更した場合にはパソコンの再起動が必要になります。指示に従って再起動してください。また、この際にWindowsのCD-ROMを要求される場合もあります。WindowsのCD-ROMを用意してCD-ROMドライブにセットしてください。



60

2.Windows2000 の場合(Administratorの権限でログインした上で作業をおこなってください)

1 ダブルクリックします。

2 ダブルクリックします。

<ローカルエリア接続>をダブルクリックします。

3 ここをクリックします。

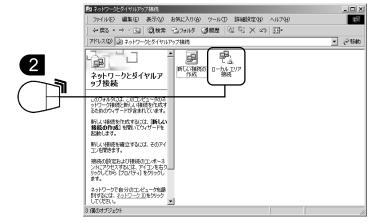
<ローカルエリア接続>の<プロパティ>をクリックします。

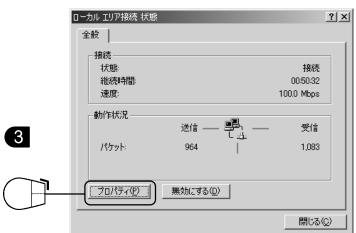
<ローカルエリア接続のプロパティ> 画面が表示されます。

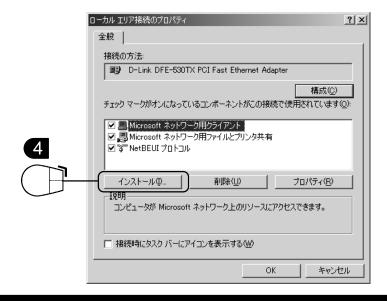
4 ここをクリックします。

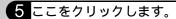
一覧に「TCP/IP」がないことを確認して、 <インストール>をクリックします。



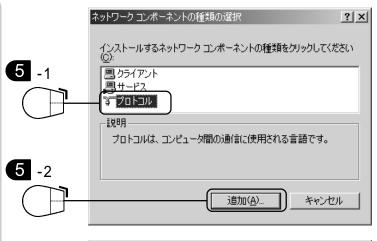






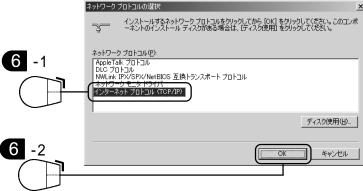


<プロトコル> <追加>をクリック します。



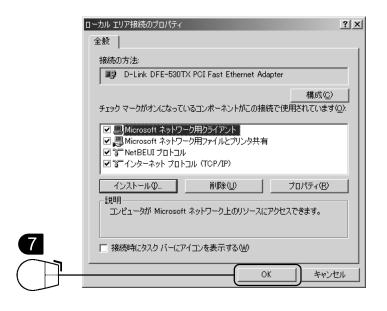
6 ここをクリックします。

<インターネット プロトコル(TCP/IP)> を選択し< OK > をクリックします。



7 ここをクリックします。

<ローカルエリア接続のプロパティ>画面に戻ったら< OK>をクリックします。



g. Internet Explorer でプロキシの設定を確認する

1 ダブルクリックします。

デスクトップ上の <マイコンピュータ> <コントロー ルパネル> <インターネットオプ ション>の順でダブルクリックします。

Windows XPの場合は、<スタート>ボタン < コントロールパネル> <ネットワークとインターネット接続> <インターネットオプション>をクリックします。(または、<スタート> ボタン <インターネット>を右クリックし、<インターネットのプロパティ>を選択します。)

<インターネットのプロパティ>画面が表示されます。

2 ここをチェックします。

<接続>タブの<ダイヤルアップの設定 (N)>で<ダイヤルしない(C)>を選択します。

「TOKAI」は一例です。

補足

ダイアルアップ設定枠内には、何も表示されない場合があります。
 この場合には手順3にお進みください。

3 ここをクリックします。

<LANの設定(L)...>をクリックします。

<ローカルエリアネットワーク(LAN)の 設定>画面が表示されます。

4 チェックをすべてはずします。

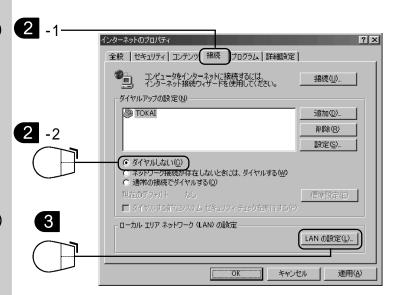
チェックをすべてはずします。

5 ここをクリックします。

<OK>をクリックして<ローカルエリア ネットワーク(LAN)の設定>を閉じます。

< インターネットのプロパティ > 画面に 戻ったら < OK > をクリックして終了しま す。







h. 時間帯をずらしてアクセスする

午後11時から午前1時ごろまでの時間帯はアクセス先のサーバが込み合っている場合があります。 また、メンテナンスなど一時的にサービスを停止している場合があります。時間帯をずらして再 度接続してみてください。

i. <コントロールパネル> < TCP/IP > 設定を確認する

1 これを選択します。

<アップルメニュー> < TCP/IP > を開きます。 ルパネル >

2 これを選択します。

<経由先>に<Ethernet>を選択しま す。

3 これを選択します。

< 設定方法 > に < DHCP サーバを参照 > を選択します。

ヒント!

- < IPアドレス > には、自動的に < サーバを参照 > が表示されます。
- その他の項目は、空白のままで結構です。

4 ここをクリックします。

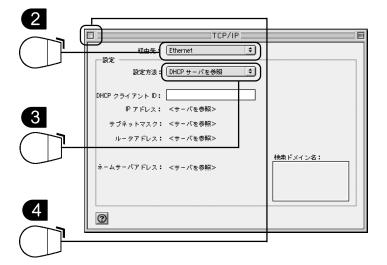
< TCP/IP > 画面を閉じます。

5 ここをクリックします。

< 変更内容を現在の設定に保存します か?と尋ねられますので、〈保存〉をク リックして設定を終了します。

6 パソコンを再起動します。

設定を有効にするためにパソコンを再起 動します。





j.Internet Explorer のプロキシの設定を確認する

*E2.F?

ご利用のWWWブラウザでプロキシが設定されているとホームページが表示できない場合があります。 Internet Explorer の場合には次の方法で確認します。

1 ここをダブルクリックします。

デスクトップの<Internet Explorer> をダブルクリックします。 Internet Explorerが起動します。

補足

- デスクトップにInternet Explorerのアイコン がない場合は、デスクトップ上の < Macintosh HD >
 - < Application (Mac OS 9) >
 - < Internet Explorer 5 >
 - < Internet Explorer > をダブルクリックします。

2 選択します。

メニューバーの < 編集 > <初期設定 > をクリックします。

• <初期設定>ダイアログを表示します。

3 クリックします。

左の一覧より < プロキシ > をクリックします。

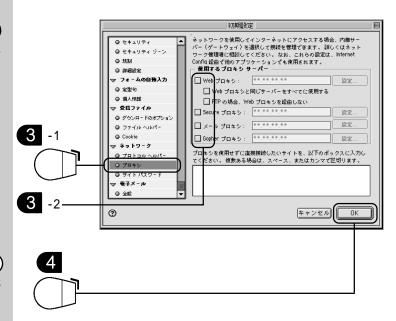
• チェックをすべてはずします。

4 ここをクリックします。

< OK > をクリックしてダイアログを閉じます。







付録

用語集

ADSL (Asymmetric Digital Subscriber Line)

電話局から各家庭や事業所まで引かれている銅線の加入者電話回線(Subscriber Line)を用いて 高速データ通信を可能にする通信方式。

ATM (Asynchronous Transfer Mode)

非同期転送モード。データをATMセルと呼ばれるヘッダ部とデータ部からなる固定長パケットに分割して送信する通信方式。

DHCP

LAN などのネットワーク上で、IP アドレスなどのネットワーク設定を自動的に割り当てる機能。

DNS サーバ

TCP/IPのホスト名(www.abcde.co.jp など)から、IPアドレス(123.123.123.123.123 など) またはその逆を検索するのに用いられるサーバ。

HUB (ハブ)

LAN に使用されている 10BASE-T ケーブルなどを集配するネットワーク接続機器で、複数のパソコンを接続する場合などに使用する。

IP アドレス

インターネットなどの IP ネットワークに接続されたコンピューター 1 台 1 台を特定するための認識番号。

IP フィルタ機能

IP アドレスやポート番号などに基づき、通信を制限する機能。

LAN (Local Area Network)

ローカルエリアネットワークの略で、同一の建物や狭い地域内のコンピュータや周辺機器を接続して、データや情報をやりとりするネットワークのこと。

LAN アダプタ

LAN に接続するための拡張カードのこと。LAN ボード、LAN カード、「NIC (Network Interface Card)」、イーサネット (Ethernet) カードとも呼ばれる。一般的にパソコン本体の拡張スロット に挿入するタイプを LAN ボード、PC カードタイプを LAN カードと呼ぶ。LAN ケーブルを接続する コネクタを標準装備し、LAN アダプタが不要なパソコンもある。

LAN **カード**

「LAN アダプタ」をご覧ください。

LAN ポード

「LAN アダプタ」をご覧ください。

NAT (Network Address Traslation)

アドレス変換の方式。ルータに NAT を搭載することで、主にプライベート IP アドレスとグローバル IP アドレスを変換する。

PPP (Point to Point Protocol)

2点間を接続してデータ通信する場合に利用するWAN用のプロトコル(通信手順)。

PPP over ATM

ATM 上で、PPP を利用して IP 通信を実現するための仕組み。

TCP/IP

インターネットで使われる通信プロトコルのこと。通信プロトコルとはコンピュータ間でデータを送受信するための手順(ルール、取り決め)のことをいいます。

WAN (Wide Area Network)

建物や敷地を越える遠隔地の間を接続するためのネットワーク。広域網とも呼ばれる。LANの対 比語として用いられることが多い。

カスケードポート

階段状という意味で、HUB(ハブ)などの機械の多段接続をする際に使われる接続口のこと。

グローバル IP アドレス (Global IP Address)

グローバルアドレスとも呼ばれる。NIC (Network Information Center) などの公的機関が割り当てる、インターネット接続時に必ず必要となる IP アドレスの別名。閉じたネットワーク内部に限り自由に利用できるプライベートアドレスが登場したため、反意語としてグローバルアドレスと呼ばれるようになった。

スプリッタ

ADSL のデータ信号が電話機や電話交換機に流れ込んだり、電話の音声信号が ADSL モデムに流れ 込むことで発生する通信障害を防ぐ。一般にスプリッタはユーザ宅と通信事業者の収容局の両方 に設置する。ユーザ宅に設置するスプリッタは宅内スプリッタとも呼ばれる。

プライベート IP アドレス (Private IP Address)

プライベートアドレスとも呼ばれる。組織内部だけの環境などで通用するIPアドレスのこと。インターネット上へプライベートアドレスを持ったデータを送出することは禁止されている。

モジュラーケーブル

電話線に電話などの通信機器を接続するためのケーブル。

ルータ

LAN 同士を相互に接続するための装置の一種。ルータは IP アドレスを見てデータ (パケット)のルーティング (中継経路設定)を行う。

10BASE-T, 100BASE-T

LAN などのネットワークで使用される伝送路の規格。それぞれ「テン・ベース・ティー」「ヒャク・ベース・ティー」と読む。それぞれ 10M ビット / 秒、100M ビット / 秒で、より対線(twisted-pairwire)をケーブルとして使う。

